

【地域医療福祉拠点化とは】

地域医療福祉拠点化の取組みでは、

地域の関係者の方々と連携・協力しながら、

豊かな屋外空間を備え、多くの方々が住まう団地を“地域の資源”として活用し、

地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進していきます。

団地を含む地域一体で、“多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち”

《ミクストコミュニティ》の実現を目指します。

〈取組み全体のイメージ〉

地域の関係者の方々と連携・協力し、
地域の課題や地域に必要な住宅・施設・
サービスの検討を進めていきます。



地方公共団体

地域医療福祉拠点化の取組方針の作成を始めた段階をUR
都市機構では「着手」と位置づけ、地方公共団体の
同意を得た上でホームページ等で公表します。

① 地域における医療福祉施設等の充実の推進



② 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進



③ 若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進



“多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち”を
地域の関係者の方々と連携・協力し、支えていきます。

UR都市機構では、地域医療福祉拠点化の取組みとして主に以下の3つを実施し、ミクストコミュニティの形成を推進していきます。全国的に地域医療福祉拠点化の取組みを進める中で、各団地における取組みに関する情報発信、様々な地域に対応したノウハウの蓄積も行っています。

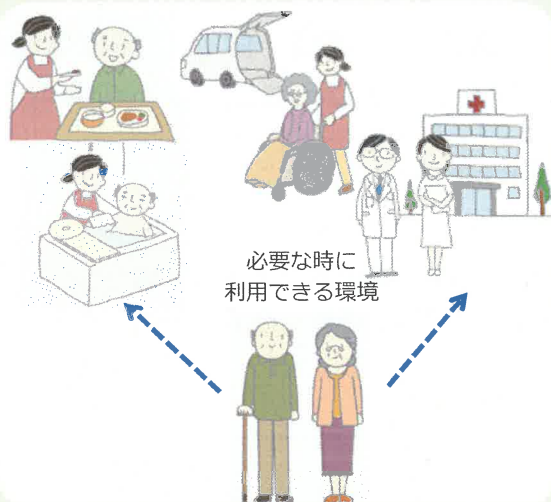
〈地域医療福祉拠点化の主な3つの取組み〉

① 地域における医療福祉施設等の充実の推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、団地を含む地域全体で在宅医療・看護・介護サービス等が受けられ、安心して住み続けられる環境づくりを目指しています。その環境づくりに向けて、団地内の敷地や賃貸施設に医療・福祉施設等を誘致し、地域における医療・福祉施設等の充実を推進しています。

具体的な取組み事例

- 医療・介護・子育て・交流機能を有した複合施設
- 地域包括支援センター
- 病院・診療所
- 小規模多機能居宅介護事業所
- 病後児保育室
- 相談拠点の導入



② 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、高齢者の方が安全・安心に住み続けられるよう工夫した住宅や多世代のニーズに合った住宅の整備を進めています。また、共用部のバリアフリー改修や見守りサービスの提供も進めています。

具体的な取組み事例

- 健康寿命サポート住宅
- 多様な生活スタイルに対応した住宅プラン
- 共用部分のバリアフリー等の改修
- 生活支援アドバイザー
- 既存住棟を活用したサービス付き高齢者向け住宅の整備



③ 若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、団地内の屋外空間や賃貸施設、集会所等を活用し、多世代交流の機会の創出や生活支援サービス機能の導入を進めています。

具体的な取組み事例

- 豊かな屋外空間を活用した交流の場の整備
- 交流拠点の導入
- 交流イベントの開催
- 子育て支援機能の導入
- 生活支援サービス機能の導入

